

飯島小、下新城小、金足西小の統合に関するこれまでの経緯について

飯島小、下新城小、金足西小については、北部地域ブロック協議会での協議結果に基づき、統合検討委員会を設置して3校での統合を検討した結果、下新城小と金足西小の2校で統合の検討を進めることとしました。

その後、令和4年5月に下新城小、金足西小学校統合検討委員会を設置して検討してきましたが、令和6年1月に開催した第5回統合検討委員会の協議を踏まえ、2校での検討を終了し、今後は、飯島小を含めた3校で統合の方向性を確認することとしております。

1 北部地域ブロック協議会【第1段階】

北部地域ではブロック協議会を6回開催しており、小学校については、土崎小と土崎南小、飯島小と下新城小と金足西小、上新城小と飯島南小の組合せで、第2段階である学校統合検討委員会に進めることを決定した。

2 飯島小、下新城小、金足西小学校統合検討委員会【第2段階】

(1) 第1回統合検討委員会（令和2年7月10日開催）

ア 主な意見等

- ・統合により、通学区域が広がる場合には、距離だけでなく、居住地の立地条件も踏まえて、スクールバスを運行してほしい。
- ・学校統合に伴い地域づくりがどうなるのかを心配する地域の声もあるが、子どもたちのために何ができるのかについて、協議していきたい。

(2) 第2回統合検討委員会（令和2年10月28日開催）

ア 主な意見等

- ・段階的に、下新城小と金足西小が統合し、数年後に、児童数の推移を見ながら、飯島小と一緒にすることも検討したい。
- ・統合の可否を検討するにあたっては、統合後の様々なシミュレーションを示してほしい。

イ 確認事項

- ・検討委員会の要請により、次回、統合した場合の校舎（学校規模）やスクールバスの運行計画等のシミュレーションを示す。
- ・段階的に2校の統合を検討することについて、各所属団体で、情報共有と意見集約を行った上で、次回、引き続き協議する。

(3) 第3回統合検討委員会（令和3年1月26日開催）

ア 主な意見等

- ・3校で統合した場合、一番心配なのは、スクールバスの乗降場所など、児童の安全確保に関することである。
- ・金足西小PTAでは、先行して下新城小と2校で統合することに賛成が多かったが、統合後に使用する校舎によっては、反対との意見があった。

イ 確認事項

- ・教育委員会が示したシミュレーションを踏まえ、3校での統合か、段階的に2校で統合するののかについて、各所属団体において意見集約を行った上で、引き続き、協議する。

(4) 第4回統合検討委員会（令和3年7月16日開催）

ア 主な意見等

- ・飯島小の周辺道路は狭いことから、スクールバスの運行や有事の際の保護者の送迎など、児童の安全を確保できなければ、3校統合には反対である。
- ・下新城小と金足西小の2校を先行して統合しても、児童数が減少していずれまた統合を繰り返すことになるので、最初から3校統合で進めてはどうか。

イ 確認事項

- ・今回の協議を踏まえ、各所属団体で再度、意見集約を行った上で、次回以降、3校統合か2校の先行統合かについて、引き続き協議する。

(5) 第5回統合検討委員会（令和4年1月13日開催）

ア 主な意見等

- ・前回示されたバスルートでは、飯島小までの安全な運行は困難と感じたので、下新城小と金足西小の2校での統合を検討するのが良いのではないかと。
- ・2校で統合してもいずれは統合を繰り返すことになるが、3校で統合するにしても通学に問題がある。
- ・現時点で3校の統合は難しいので、下新城小と金足西小の2校の保護者や地域の意見をとりまとめるため、検討委員会内に小委員会を設置してはどうか。

イ 確認事項

- ・下新城小と金足西小の2校の組合せでの検討が可能かについて協議するため、検討委員会内に小委員会を設置し、今後の進め方を整理する。
- ・小委員会での検討結果を踏まえ、次回、検討委員会で協議する。

(6) 下新城小と金足西小の組合せに関する小委員会（令和4年2月2日、3月1日の2回開催）

ア 小委員会でのとりまとめ

- ・今後の児童数の推移を踏まえると、下新城小、金足西小の2校の組合せで統合に向けた検討を進めたいと考える。
- ・ただし、統合後に使用する校舎や通学手段については、個別の課題を整理しながら、協議する必要がある。

〔裏面に続く〕

(7) 第6回統合検討委員会（書面開催、令和4年3月18日資料送付）

ア 主な意見等

- ・下新城小、金足西小の地域代表と保護者代表で構成される小委員会でとりまとめた2校の組合せで検討を進めることについては、飯島地区および飯島小PTAとしても異論はない。
- ・統合後に使用する校舎や通学手段については、個別の課題を整理しながら協議する必要がある。

イ 確認事項

- ・下新城小と金足西小の2校の組合せで検討委員会を設置し、統合の時期、統合後に使用する校舎、通学手段など統合の可否について検討を行う。

3 下新城小、金足西小学校統合検討委員会【第2段階】

(1) 第1回統合検討委員会（令和4年5月27日開催）

ア 主な意見等

- ・児童数の将来推計を見ると、減少傾向にあるので、子どもたちのより良い教育環境を実現するためにも、早めに統合することが望ましいと思う。
- ・それぞれの校舎を使用した場合の課題を整理した上で、まずは統合後に使用する校舎を決定してから、統合時期を協議してはどうか。
- ・どちらの校舎を使用するにしてもスクールバスの運行は必要となるため、地域の実情も踏まえながら通学手段を検討してほしい。

イ 確認事項

- ・今後の協議の進め方について、統合後に使用する校舎から協議することとした。
- ・次回、教育委員会から統合後のスクールバスの運行計画等のシミュレーションを提示することとした。

(2) 第2回統合検討委員会（令和4年11月15日開催）

ア 主な意見等

- ・金足西小は校舎やグラウンドが広く、スクールバスも問題なく迂回できるため、金足西小の校舎を使うのが良いと考える。
- ・下新城小地区には多くの児童が居住しており、スクールバスが運行されれば、本来の学区の児童が下新城小に通いやすいのではないかと。
- ・2校の校舎の築年数はほぼ同じであり、どちらの校舎を使用するのかを決めるのは難しい。
- ・スクールバスの運行や校舎の老朽化の問題だけで、統合後に使用する校舎を判断することは難しいので、教育委員会から一定の方向性を示してほしい。

イ 確認事項

- ・今回の協議内容や教育委員会が示したスクールバス運行シミュレーション（案）を踏まえ、各所属団体に情報共有するとともに意見集約し、次回以降、今後の進め方も含め、協議する。

(3) 第3回統合検討委員会（令和5年2月13日開催）

ア 主な意見等

- ・統合はやむを得ないが、どちらの校舎を使用するにしても通学が問題となるので、安全確保を公平かつ最優先に考えてほしい。
- ・統合後に使用する校舎については、スクールバスの運行のほか、教室数や児童館などの子育て環境を考慮すべきである。

イ 確認事項

- ・今回の協議内容や教育委員会が示した比較検討資料を踏まえ、各所属団体で情報共有するとともに意見集約し、次回以降、引き続き、協議する。

(4) 第4回統合検討委員会（令和5年8月29日開催）

ア 主な意見等

- ・下新城小PTAのアンケート結果では、校舎の使い勝手は下新城小の方が良いとの意見が多かった。
- ・金足西小では、統合を急がず、将来的な飯島小との統合も視野に入れ、現状のままとするのが良いのではないかと意見が多かった。
- ・2校を比較すると児童数や校舎の築年数などに大きな違いがなく、統合後の校舎を決めるのは難しいと考える。

イ 確認事項

- ・今回の協議内容や教育委員会が示した資料を踏まえ、各所属団体で情報共有するとともに、意見集約した上で、次回、今後の方向性について協議する。

(5) 第5回統合検討委員会（令和6年1月10日開催）

ア 主な意見等

- ・下新城小PTAとしては、2校での統合ではなく、できるだけ早く飯島小との統合について検討を進めたい。
- ・金足西小PTAとしては、将来的に飯島小との統合が必要になると思うが、現時点では単独で残りたい。

イ 確認事項

- ・本検討委員会は、2校での検討を終了し、今後は、飯島小を含めた3校で、統合の方向性を確認する。
- ・今回の協議内容を踏まえ、飯島地区、飯島小PTAと3校の統合検討委員会設置に向けて、調整する。